

外国語科(英語)

音声について、要点は何か。

現代の標準的な発音

※ 母音や子音の種類や数が英語と日本語では異なっていること、また、例えば street や school などのように、英語では子音が続いたり子音で終わったりすることなど、日本語と英語の音声の特徴や違いに十分留意する必要がある。

語と語の連結による音変化

※ 音変化の例

- ・ 2語が連結する場合

There is an apple on the table.

Take it easy.

- ・ 2語が連結するとき、一部の音が脱落する場合

What time is it now?

I don't know.

- ・ 2語が連結するとき、二つの音が影響しあう場合

Would you tell me the way to the library?

Why don't you join us?

語、句、文における基本的な強勢

※ 強く発音される部分は大きく長めに、そうでない部分は弱くすばやく発音されることから、強勢がほぼ等間隔に置かれることになり、英語特有のリズムが生まれる。

英語は日本語と違って強弱によってアクセントを付ける場合が多く、日本語とは異なるこのような英語のリズムを理解させ、習得させることが重要である。

名詞、動詞、形容詞などの内容語には強勢が置かれ強く発音されることが多い。

- ・ 語における強勢には次のようなものがある。

thirtteen ínteresting record (動詞) récord (名詞)

- ・ 句における強勢には次のようなものがある。

in the évening in front of the station

- ・ 文における強勢には次のようなものがある。

Gíve me some cóffee, please.

Whát are you lóoking for?

文における基本的なイントネーション

- ※ イントネーションは話者の気持ち、意図、相手との関係など、その場の状況などによって変化するが、英語の文には文がもつ基本的なイントネーションがあり、それらを正しく身に付けることが必要である。
- ・ 下降調のイントネーションは平叙文や命令文にみられることが多い。また、wh-疑問文も原則としてこのイントネーションが用いられる。
 - ・ 上昇調のイントネーションは yes-no 疑問文や言葉を列挙するときなどにみられることが多い。
 - ・ or を含む選択疑問文では上昇調と下降調が組み合わされて用いられる。



基本的なイントネーションを理解し、話したり読んだりする場合に用いることができるように十分指導することが必要である。

文における基本的な区切り

- ※ 区切りは、理解する場合にも表現する場合にも重要な役割を果たしており、文を適切に区切りながら話したり読んだりできるように指導する必要がある。